

歯科技工所用販売管理ソフトウェア

Labox
インストールガイド

東九州ソフトウェア開発

連絡先

ホームページ URL : <http://www.eksd.jp>
電子メールアドレス : support@mail.eksd.jp

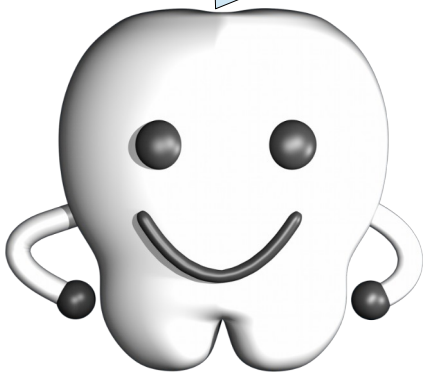
目次

はじめに	3
本書について	3
動作に必要なパーソナルコンピュータの要件	4
本ソフトウェア製品で使用されているソフトウェアのライセンス情報	5
Labox のインストール	6
インストーラの実行	7
インストール	9
1. ようこそ画面	9
2. 使用許諾条件への同意	10
3. 製品の配置場所の設定	11
4. 進行中画面	12
5. 完了画面	13
初めての起動と初期データの自動作成	14
Labox の起動	15
初期データの自動作成	16
試用確認	18
ログイン	19
Labox の終了	22
次に行うべき作業	23

はじめに

本書について

本書は、Labox のパーソナルコンピュータへのインストールおよび初期データの作成について説明しています。



インストールと初期データの作成

本書

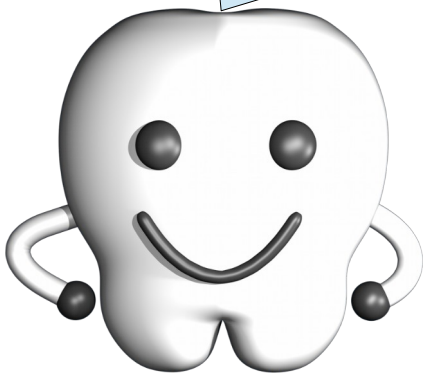
準備作業（導入作業・移行作業）

日々の業務（納品・請求・金属預り）

不定期の作業

動作に必要なパーソナルコンピュータの要件

Labox のインストールおよび、その後の利用にあたっては、以下の要件を満たしているパーソナルコンピュータおよび関連機器が必要になります。



Windows のバージョン	Windows XP または Windows Vista または Windows 7 または Windows 8 / 8.1 または Windows 10
画面	1024 x 768 以上の解像度
メモリ	512MByte 以上のメモリを搭載していること かつ 上記の Windows のバージョンのシステム要件を満たしていること
ハードディスク	導入時：約 80MByte の容量を使用 運用時：1 年間で約 150MByte を使用 (技工士 1 人あたり)
プリンタ	上記の Windows のバージョンで利用可能なプリンタ

本ソフトウェア製品で使用されているソフトウェアのライセンス情報

本ソフトウェア製品は、複数のソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東九州ソフトウェア開発または第三者の著作権が存在します。

- libjpeg -

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

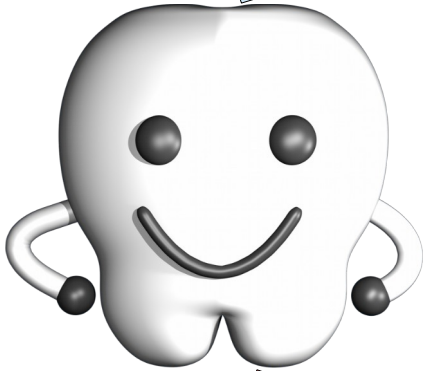
- OpenSSL -

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

This product includes cryptographic software written by Eric Young. (eay@cryptsoft.com)

Labox のインストール

次の手順で Labox のインストールを行います。



なお、Labox をバージョンアップする場合など、すでに Labox がインストールされている場合は、最初にインストール済みの Labox のアンインストールを実施してください。

アンインストールしてもデータは消去されずに新バージョンに引き継がれます。

アンインストールの手順については、別冊の、

・ 『Labox 操作マニュアル - 応用編 -』

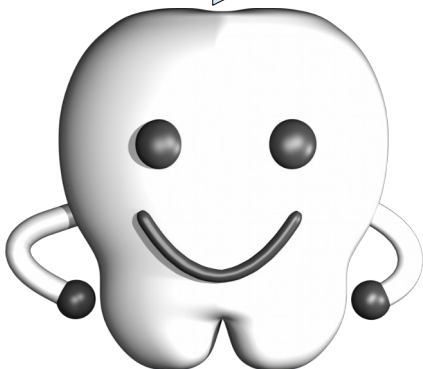
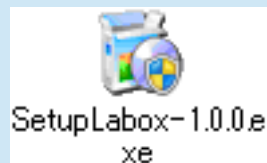
を参照ください。

インストーラの実行

ダウンロードした、

SetupLabox-X. X. X. exe (下図参照)
(X. X. Xの部分はバージョン番号に読み替えてください)

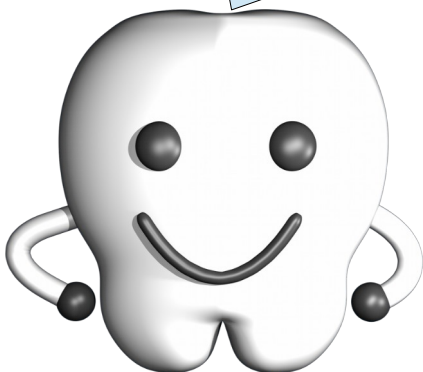
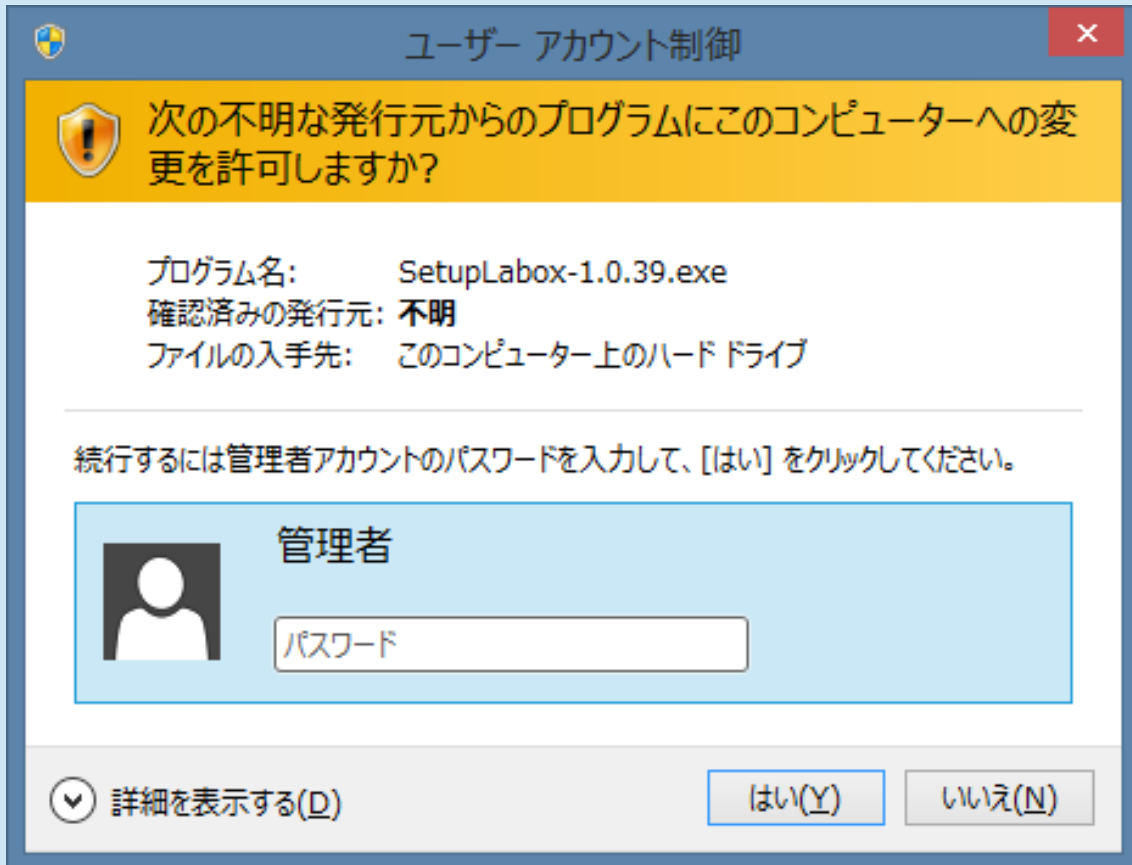
をダブルクリックし、インストーラを起動します。



Windows XPの場合は、管理者権限が割り当てられたユーザでログインしてインストーラ (SetupLabox-X. X. X. exe) を起動してください。

よくわからなければ、初回起動時に作成したユーザでLaboxのインストールを実施してください。

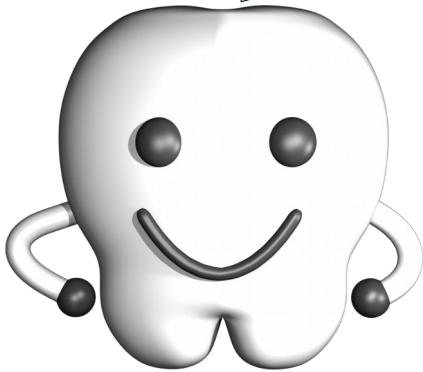
インストール時に『ユーザー アカウント制御』という画面（下図参照）が表示されることがあります。



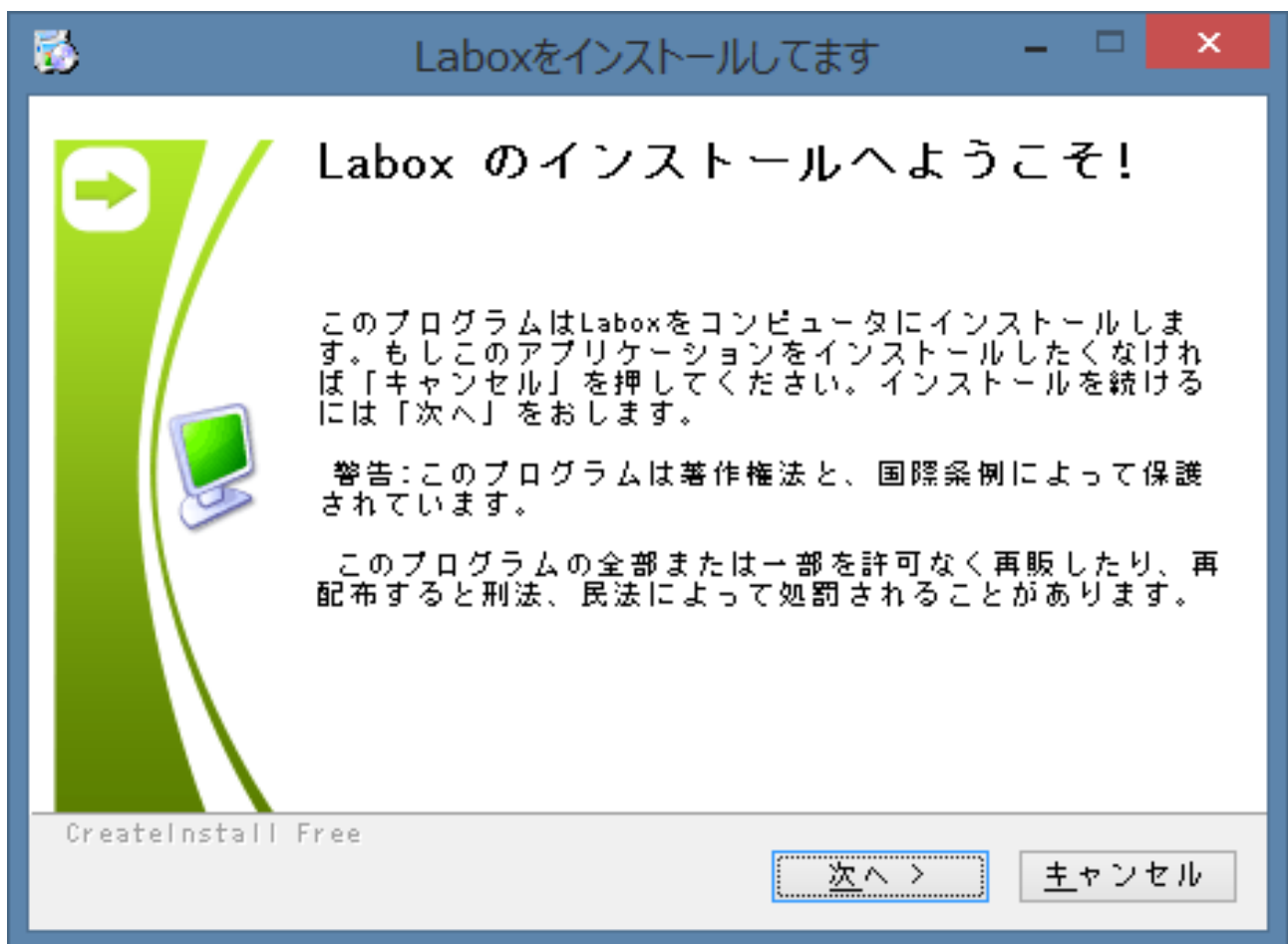
その場合には、**管理者のパスワードを入力してインストールを継続してください。**

インストール

インストーラが起動しますので、下記の要領にて画面の操作を行って、インストールを行ってください。

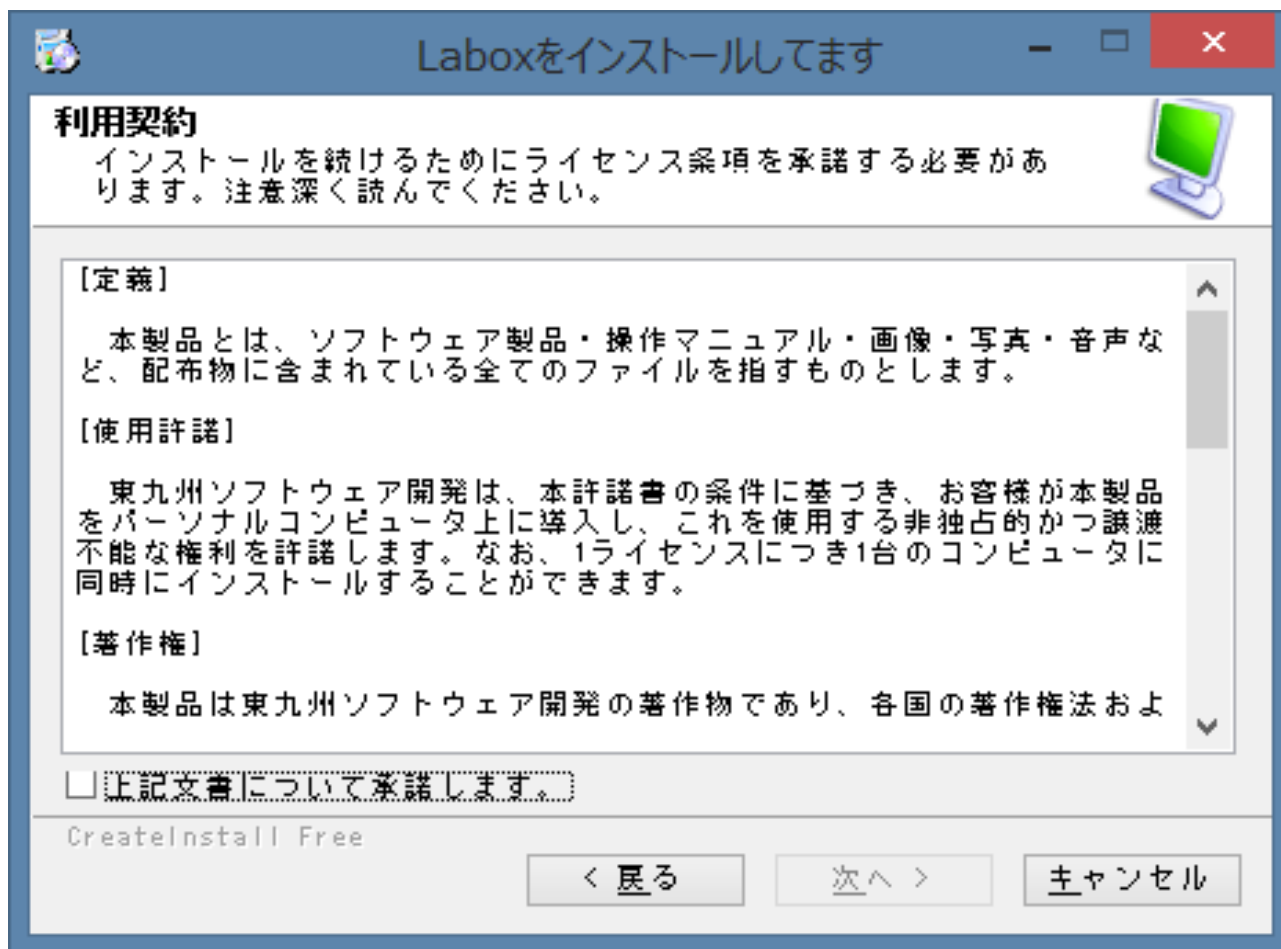


1. ようこそ画面



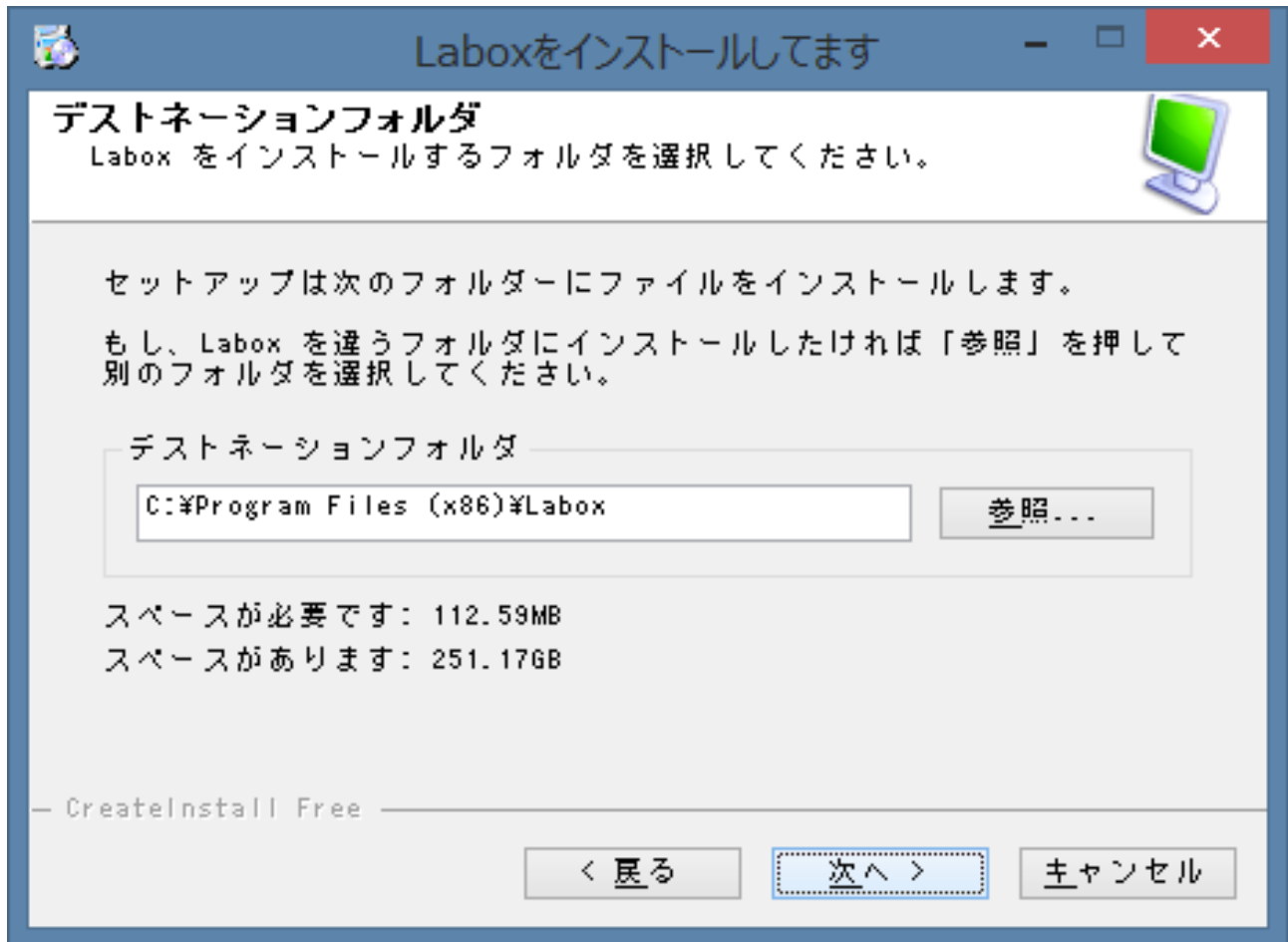
ようこそ画面です。インストールを中断する場合は[キャンセル]ボタンを、続行する場合は、[次へ >]ボタンを押して次へ進みます。

2. 使用許諾条件への同意



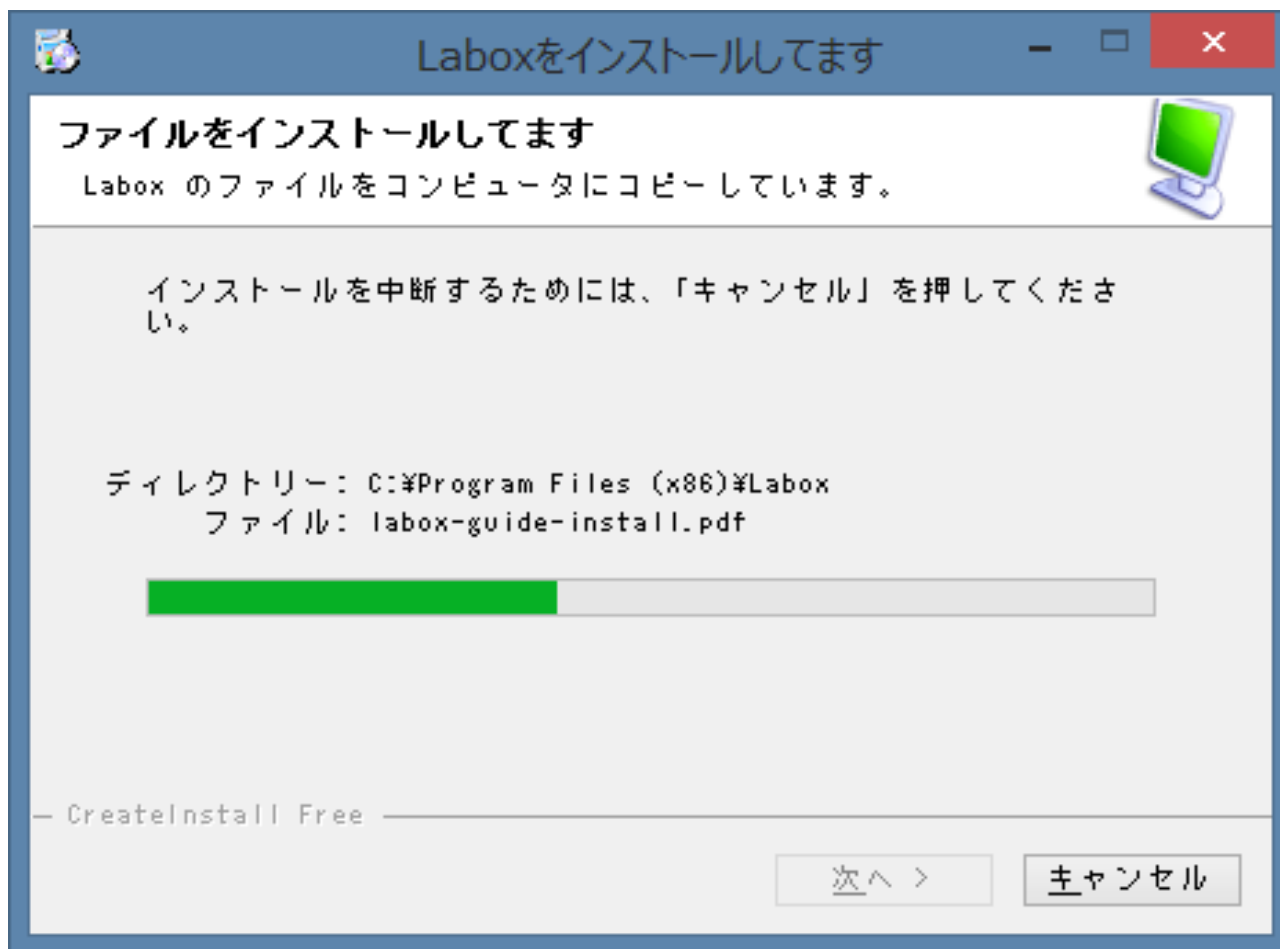
ライセンス条項(製品の使用許諾条件)が表示されます。内容を確認し、同意する場合は、[上記文書について承諾します。]チェックボックスをチェックし、[次へ >]ボタンを押して次へ進みます。承諾できない場合は、[キャンセル]ボタンを押してインストールを中断してください。

3. 製品の配置場所の設定



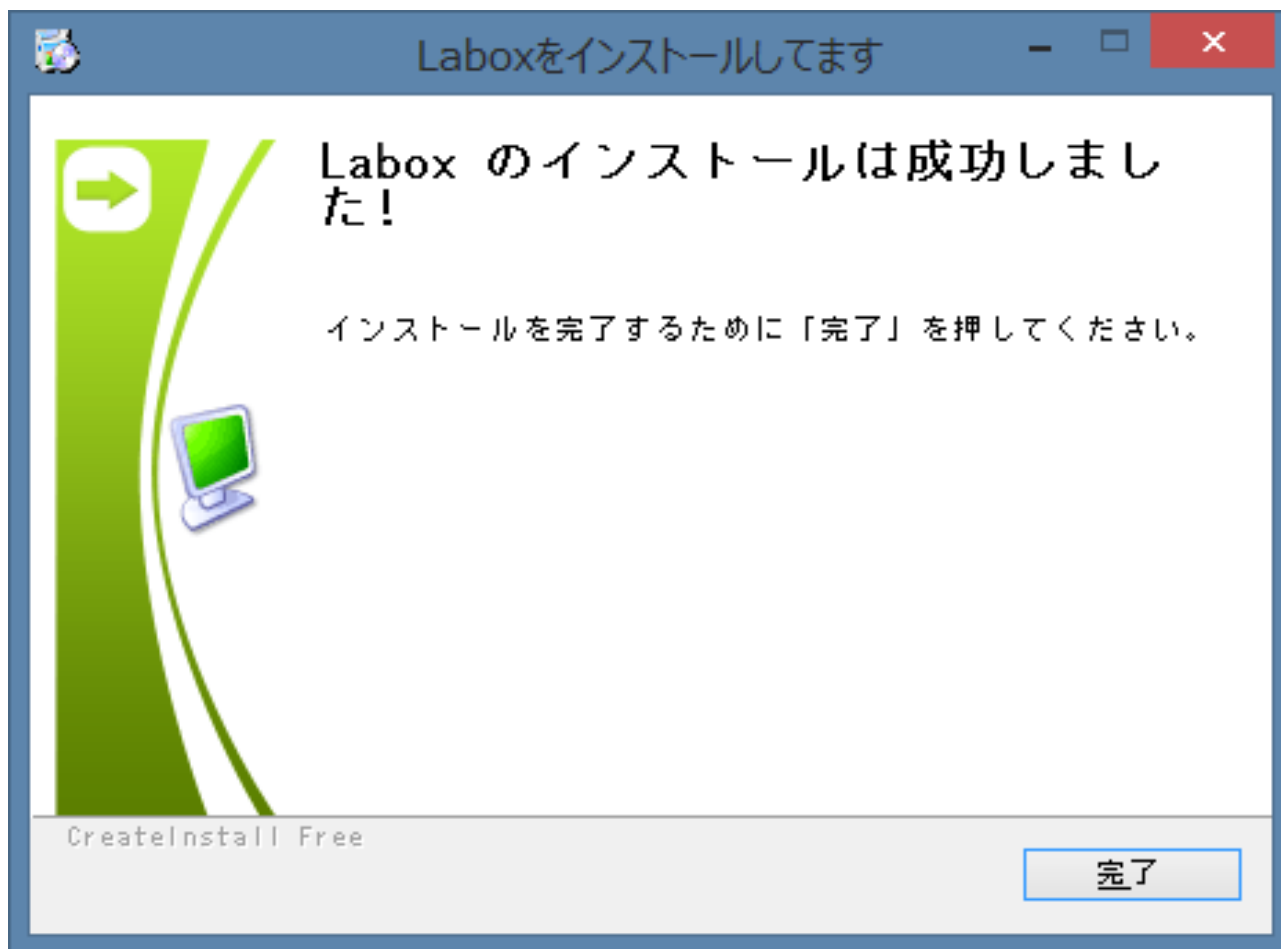
製品の配置場所を指定します。**初期値のままです問題ありません。**初期値のままインストールを行う場合は、[次へ >] ボタンを押して次へ進みます。別の場所にインストールを行う場合には、[参照] ボタンを押して場所を変更し、[次へ >] ボタンを押して次へ進みます。

4. 進行中画面



インストールの進行具合が表示されます。自動的に次へ進みますのでそのままお待ちください。

5. 完了画面



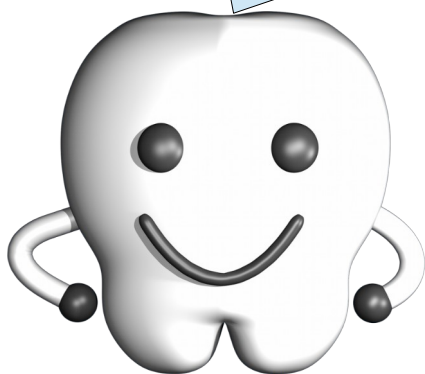
インストールが正常に終了したことを表しています。[完了]ボタンを押してインストーラを終了してください。インストールが正常に終了すると、デスクトップにLaboxを起動するためのアイコンやマニュアルを参照するためのアイコンが作成されます。

初めての起動と初期データの自動作成

インストールが完了しました。

続いて、Labox の起動を行きましょう。

Labox の初めての起動では、自動的に初期データが作成されます。

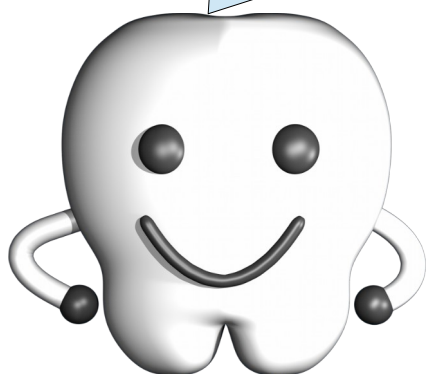


自動的な初期データの作成は、新規インストールの場合のみ実施されます。

バージョンアップ後の起動時には実施されませんので、旧バージョンのデータを引き継いで利用することができます。

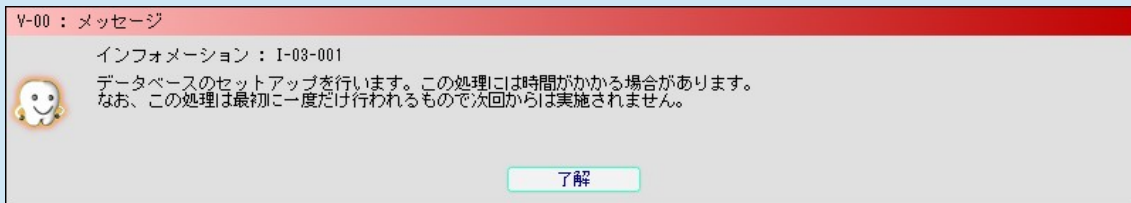
Labox の起動

デスクトップに作成されたLabox アイコン（下図参照）をダブルクリックするか、スタートメニューからLabox を起動します。



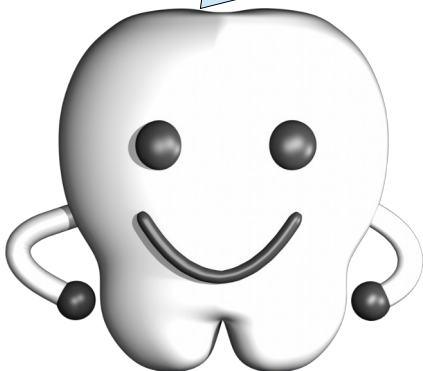
初期データの自動作成

Labox の初めての起動では、下図のメッセージ（データベースのセットアップを行います。...〈省略〉... 次回からは実施されません。）が表示されます。



『データベースのセットアップ』というのが初期データの作成のことを表しています。

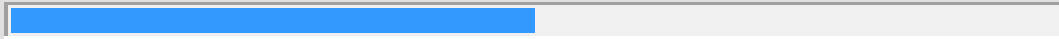
[了解] ボタンを押し、データベースのセットアップを続行します。



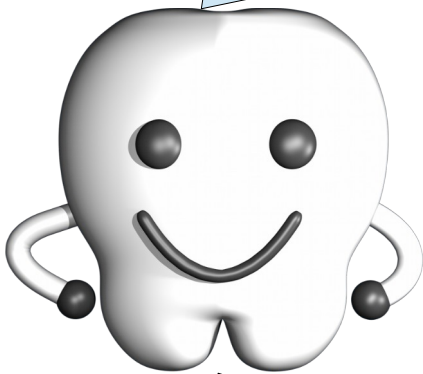
データベースのセットアップの進行具合が表示されます。

V-01: セットアップ

データベースのセットアップ中です。この処理には時間がかかる場合があります。処理が完了するまでこのままお待ちください。



自動的に次へ進みますのでそのままお待ちください。数十秒から数分の時間がかかります。



データベースのセットアップが完了すると、下図のメッセージ（データベースのセットアップが完了しました。）が表示されますので、[了解]ボタンを押してください。

V-00: メッセージ

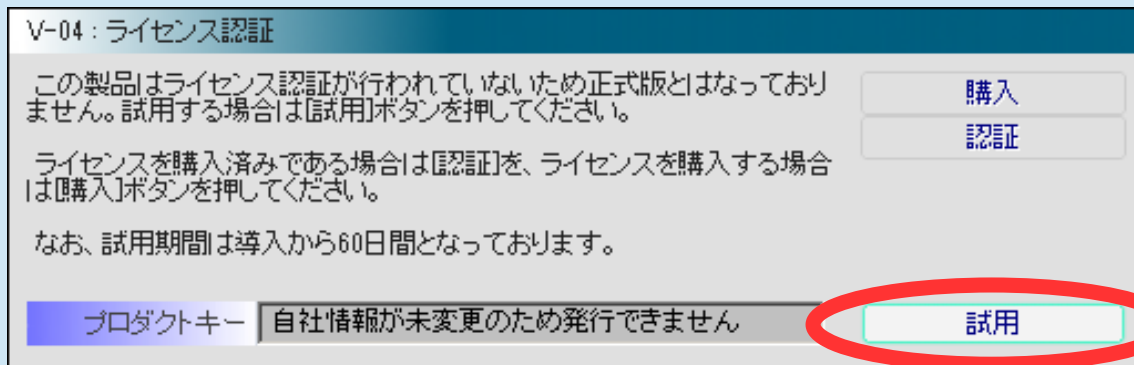
インフォメーション: I-03-002
データベースのセットアップが完了しました。



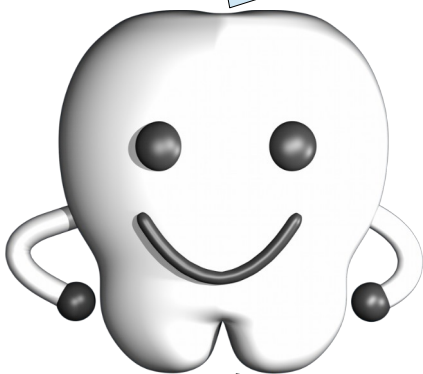
了解

試用確認

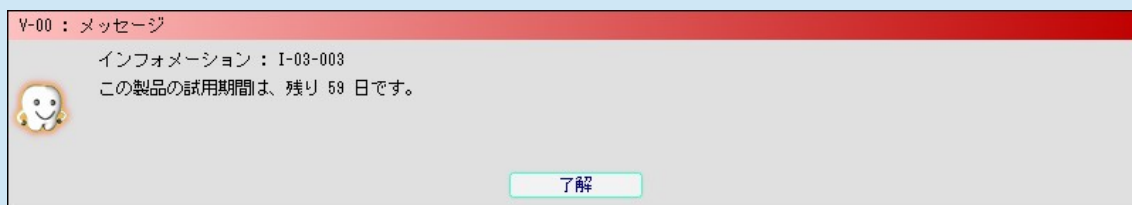
続けて、以下の画面が表示されます。この画面は、ライセンスを購入していない場合にのみ表示されるもので、ライセンスを購入し、正式版となった後は表示されません。



ここでは [試用] ボタンを押して下さい。



試用期間が満了するまでの残日数が表示されますので、[了解] ボタンを押してください。



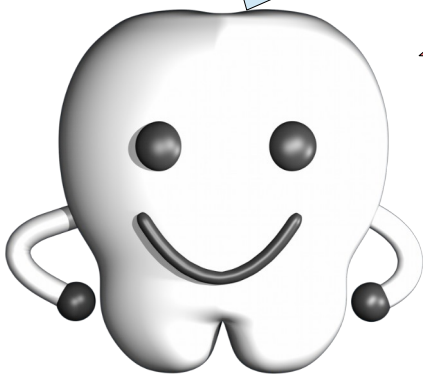
ログイン

続いて、以下のようにログイン画面が表示されます。

Labox ではログインを行って全ての作業を行います。これは、Labox の利用者にそれぞれ別の権限を与えることができるようにするためです。例えば、

- ・ gikoushi でログインした場合は請求処理はできない
- ・ jimur でログインした場合は材料の登録はできない

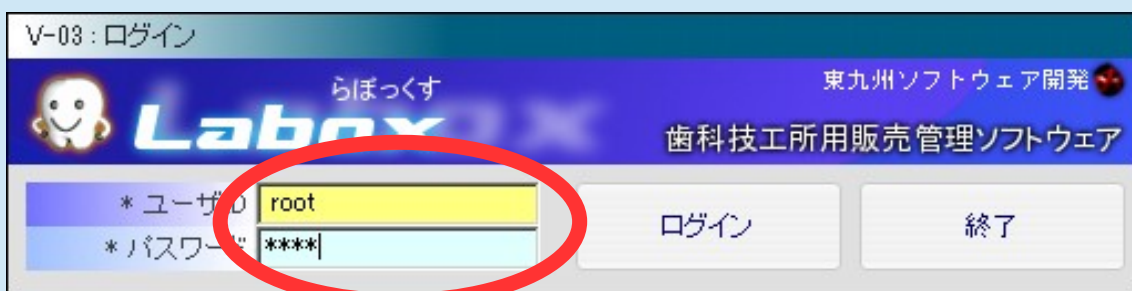
というように利用者の役割ごとに操作できる業務を制限することができます。



インストール直後の状態で使えるユーザ ID とパスワードは次のページに記載しています。

インストール直後の状態では、全ての操作を行うことができる root (アール・オー・オー・ティー) という ID を持つユーザが存在します。初めての利用では、root を利用してログインします。

ユーザ ID に、
root
と入力し、パスワードに、
1111
と入力して、[ログイン] ボタンを押します。



V-03: ログイン

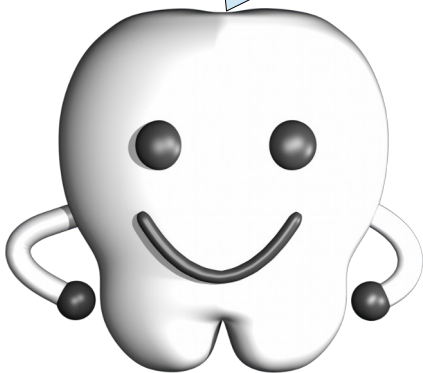
らぼっくす 東九州ソフトウェア開発

Labox 歯科技工所用販売管理ソフトウェア

* ユーザID root

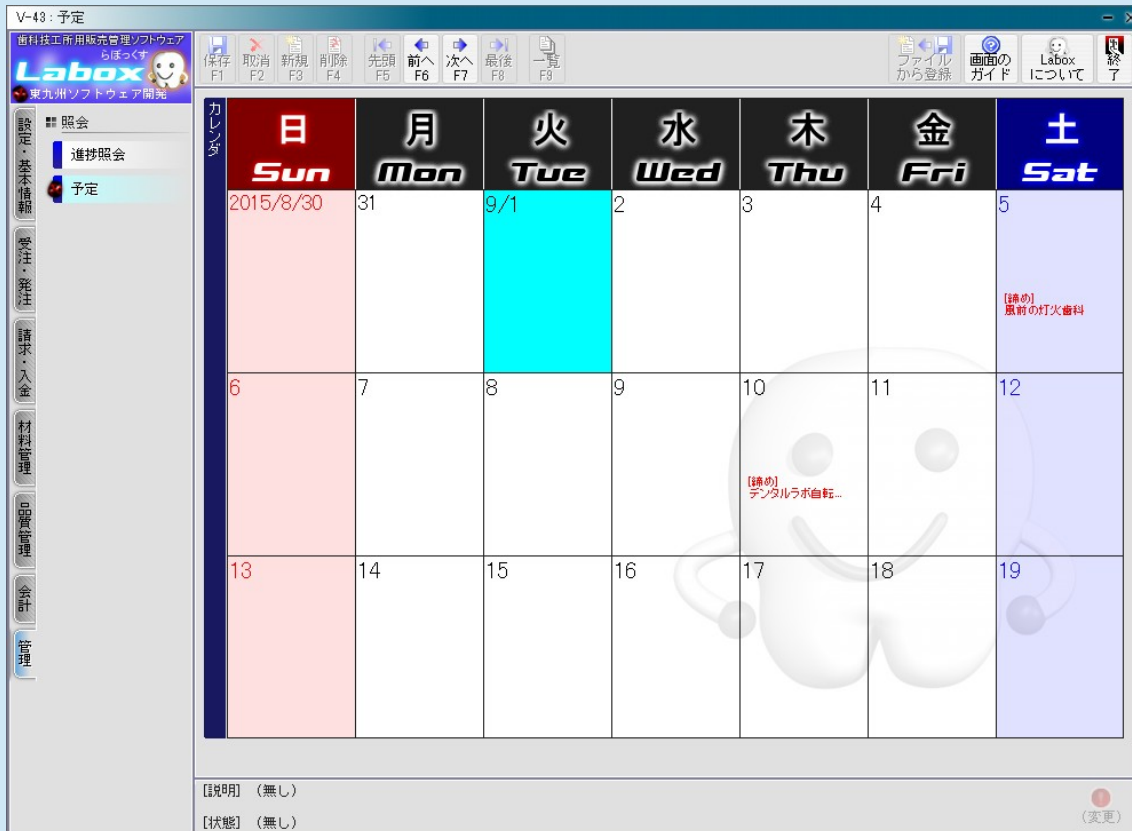
* パスワード ****

ログイン 終了



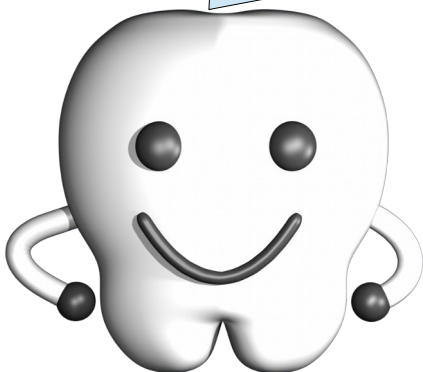
root のパスワードは
1111
です。

ログインに成功すると、Laboxの初期画面である予定画面が表示されます。



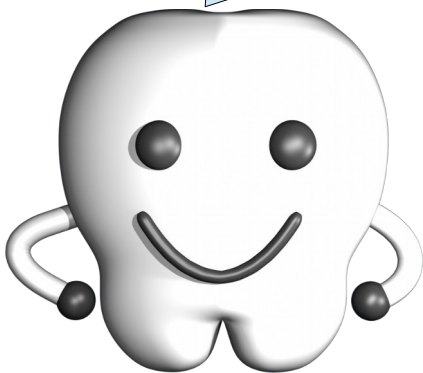
上の予定画面は、Laboxのログイン直後に必ず表示される画面で、納品処理が完了していない受注の情報、各得意先の締め日などの情報が表示されます。

なお、水色（●）の背景を持つ枠が本日の日付に対応しています。

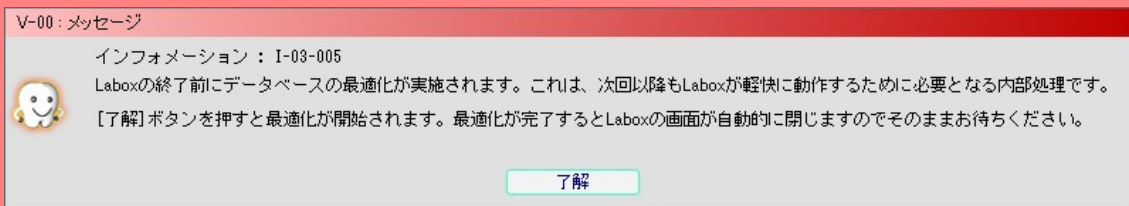


Laboxの終了

では、Laboxを終了します。画面の右上にある[終了]ボタン(下図参照)を押してください。



[終了]ボタンを押すと、下図のメッセージ(Laboxの終了前にデータベースの最適化が実施されます。...<省略>...そのままお待ちください。)が表示されることがあります。



上記のメッセージが表示された場合は、[了解]ボタンを押し、画面が消えるまでお待ちください。

なお、データベースの最適化は7日おきに実施されます。

次に行うべき作業

Labox のインストール作業および初期データの作成が完了しました。

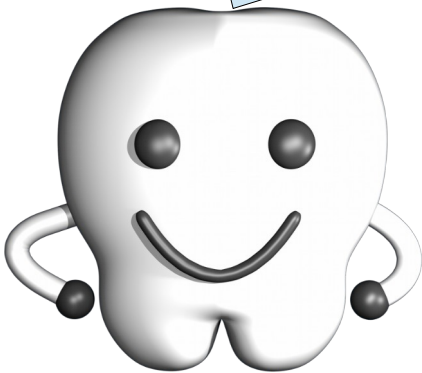
次に行う作業は、作成された初期データ（自社情報やシェード、材料、技工製品、歯科医院、料金表など）を業務に合わせて修正する作業です。

また、歯科医院への前回請求額や預り材料の残量の登録なども行います。

作業の詳細については、別冊の、

- ・ 『Labox 導入・移行ガイド』

を参照してください。



『Labox 導入・移行ガイド』
へ読み進んでください